

令和6年度の主な事業を紹介します

●物価高騰を克服する地域経済活性化策

事業名	予算額	事業内容
さくら市農産物売上向上対策総合支援事業	3,298万円	これまでの農業用機械や設備代への補助、新規作物の種子種苗代の補助に加え、新たに「さつまいも作付拡大推進事業」を実施します。
中心市街地活性化推進事業	653万円	商店街活性化のため、空き店舗への出店にかかる改修費・家賃の一部補助を実施します。

●安心な暮らしのために（防災減災対策、医療・福祉の進化）

事業名	予算額	事業内容
農業用ため池防災減災対策事業	1,218万円	決壊した場合周辺に被害を及ぼす可能性のあるため池のうち、藪内溜・笹山溜池・向溜の防災工事に着手します。
ひきこもり支援事業	510万円	ひきこもり支援コーディネーターを設置し、ひきこもりの状態にある本人やその家族に向けた相談窓口の開設や、居場所作りを実施します。

●暮らしを楽しめるまちづくりの推進

事業名	予算額	事業内容
商店街の景観・ホスピタリティ向上事業	404万円	商店街の売上アップを図るため、まちなかおもてなし空間の維持管理や、喜連川図書館入口周辺の活用・整備方針を定めます。
花と緑の小都市推進事業	798万円	市全体を桜・花・緑で彩るため、緑地の保全や緑化の推進に関する基本事項を定める緑の基本計画(仮称)の策定業務に着手します。
歴史・文化を通じた地域づくり事業	250万円	伝統文化・文化活動等に対する助成を実施します。
公共交通計画再構築事業	2,887万円	乗合タクシーへAI技術を活用した運行システムを導入し、またワゴン型車両を配備します。

●さくら市の子どもたちのために

事業名	予算額	事業内容
小学校施設整備事業	4億9,114万円	学校環境改善のため、市内全ての小学校体育館において、空調設備の整備に着手します。
中学校施設補修整備事業	2,178万円	氏家中学校の第1・2屋内運動場と格技場に、リース方式により空調設備を設置します。
給食センター建設事業	2億6,670万円	令和7年度供用開始予定の新給食センターにおける外構工事や、各学校の給食調理室の工事等を実施します。
施設型給付・地域型給付等事業	1,407万円	4月1日より第2子（0～2歳児）以降の保育料を所得制限なしで無償化します。
放課後児童クラブ施設整備事業	2,620万円	南小地区の放課後児童クラブ増設と、児童センター開設に着手します。
妊娠・出産包括支援事業	895万円	4月1日より産後のお母さんの体と心の回復のため、産後ケア利用料を無償化します。

●カーボンニュートラルの推進

事業名	予算額	事業内容
脱炭素化普及促進事業	1,130万円	太陽光発電システム、蓄電池、電気自動車購入に対する補助金の受付件数を拡大します。

●行政区重視の市政

事業名	予算額	事業内容
地域コミュニティ活性化事業	760万円	行政区単位での住民交流活動の促進を目的とする、新たな補助を実施します。
草川水と緑の散歩道街路灯電気料補助事業	49万円	行政区の街路灯電気料に対する補助を、これまでの半額から全額補助に拡充します。
道普請事業	1,000万円	行政区等が行う、地域の道路の整備に係る費用に対する補助内容を拡充します。

●移住の促進

事業名	予算額	事業内容
結婚支援事業	763万円	少子化問題解消と定住人口の増加を図るため、新婚生活に係る費用への補助や婚活イベントの開催など、各種結婚支援事業を実施します。
移住推進事業	829万円	お試し移住体験や移住セミナー等の従来の移住支援事業に加え、新規就農を希望する移住者への支援など、農業に特化した移住促進事業に取り組みます。

※詳しい内容は、市ホームページに掲載しています。

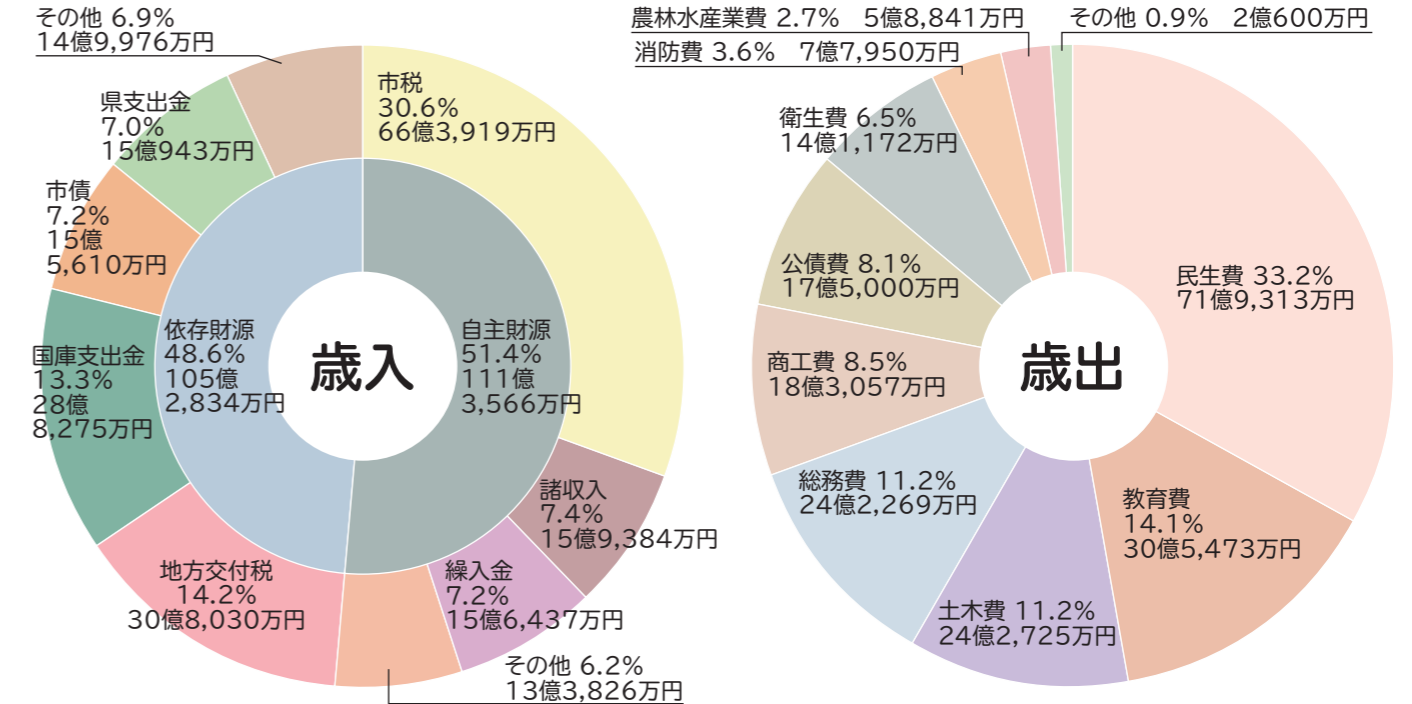
問合せ | 財政課 ☎681-1122

令和6年度予算が決まりました

令和6年度は、さくら市が誕生して20年目の節目にあたりますが、「第2次さくら市総合計画」等に基づき、まちづくりの将来像である「安心して暮らせ、地域・ひと・まち・ものを結ぶ魅力いっぱいのまち」の実現を目指し、必要な施策を着実に推進するための市政の推進を図っていきます。

- 一般会計 **216億6,400万円** (前年度比+4.2%)
福祉や教育、公園や道路の整備など、行政運営にかかる基本的な経費
 - 特別会計 **87億6,341万円** (前年度比+2.3%)
国民健康保険、介護保険など特定の収入をもって運営される事業の経費
 - 水道事業会計 **17億4,126万円** (前年度比-2.1%)
 - 下水道事業会計 **21億3,388万円** (前年度比+8.5%)
- 予算総額343億255万円** (前年度比+3.6%)

一般会計の内訳



◆用語解説◆

歳入

- 【自主財源】 市税や繰入金など市が独自に調達できるもの
- 【依存財源】 地方交付税や国庫支出金など、国や県から交付されるもの
- 【市税】 皆さんに納めてもらう市民税・固定資産税など

- 【地方交付税】 市町村の財政力に応じて国から交付されるもの
- 【繰入金】 基金会計など他会計から移されるお金
- 【国庫支出金・県支出金】 社会保障や教育、公共事業など、国や県が使い道を決めて交付するもの
- 【市債】 市が事業を行うために借り入れるもの

歳出

- 【民生費】 高齢者や障がい者、児童など福祉全般に使う経費
- 【教育費】 幼稚園や小中学校、公民館、図書館など教育全般の運営をする経費
- 【総務費】 市役所の全般的な事務にかかる経費
- 【土木費】 道路、公園、市営住宅などを整備・管理する経費
- 【公債費】 市が事業を行うために借り入れたお金の返済金
- 【衛生費】 予防接種や健康診査、ごみ処理などにかかる経費

- 【商工費】 商工業の振興、観光事業などにかかる経費
※融資預託金（中小企業が低利で融資を受けるために市が金融機関に資金を預託するもので、年度末に全額諸収入として回収される。）の約14億5,000万円を含む。
- 【消費費】 消防活動、消防施設の整備などにかかる経費
- 【農林水産業費】 農業や林業、畜産業などの振興のための経費

※端数処理により、計が合わない場合があります。